

図書館だより

NO. 90 2005年 8月号
(2005年8月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

夏休みがはじまりました。図書館は大忙しです。朝10時前にはもう自動ドアの前に並んで、「開館します」の声とともに飛び込んでくる子どもたち。お目当ての本棚に直行、検索コーナーの利用者端末で熱心に入力、カウンターで調べ物の相談、ビデオの視聴・・・子どもたちは思い思いに図書館の中へ散らばっていきます。

そろそろ宿題も気になってくる頃でしょうか。「調べ学習」や「自由研究」に関する本の問い合わせも多くなります。図書館では、夏休み後半の8月18日から30日まで、「第8回図書館を使った“調べる”学習賞コンクール入賞作品の複製展示」を行います。小学生から大人まで全国の応募から選ばれた入賞作品、きっと「調べ学習」や「自由研究」のヒントになるのではないのでしょうか。

今月の展示

一般書

- ・戦後60年をむかえて

正面

戦後60年、ヒロシマでは被爆から60年です。誰もが平和を願っているはずなのに地球上では今も悲惨な戦争が繰り返されています。私たちは次世代へ何を伝えていくことができるのか、戦争の記憶が風化しようとする今ともに考えたいと思います。

- ・さくらびあ物語の本

展示コーナー

韓国で人気のピアニスト倉本裕基さんの公演がさくらびあで10月にあります。今回は韓流ブームにちなみ韓国についての本を紹介します。

- ・「第8回図書館を使った“調べる”学習賞コンクール入賞作品の複製展示」中央通路
8月18日(木)～8月30日(火)まで。たくさんの本や情報を使って調べた“調べる”学習賞コンクールの入賞作品です。

児童書

- ・平和を願って

子どもの本の展示コーナー

戦後60年・・・しかし、今も世界のどこかで戦争は続いています。私たちはどれだけ戦争のことを知っているのでしょうか。戦争について、平和について、もう一度考えてみませんか？

- ・この本おもしろいよ～夏休みに読んでみたい本～

中央通路

7月に引き続き館内に展示します。

今月の新刊 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。ここでは、その中からみなさんにおすすめしたい本を4点あげてみました。

『KIHACHI』

四季のレシピ集 III 秋』

熊谷 喜八/著 NHK出版 596/ク
キハチ料理教室「グルメサロン」で紹介されている人気のレシピを一挙掲載。実りの季節、秋。「どんなところでも作れる最強の洋食」キハチ流無国籍料理の作り方を丁寧に教える。

『震度0』

横山 秀夫/著 朝日新聞社 F/ヨ

阪神大震災の朝、一人の県警幹部が失踪した。蒸発か？事件か？錯綜する思惑と利害、保身と野心、激しい内部抗争を背景に、N県警幹部6人の密室劇の幕が開く…。『小説トリッパー』連載に加筆。

『妖精と妖怪のあいだ』

—評伝・平林たい子—

群 ようこ/著 文藝春秋 910.2/ヒ
繊細にして大胆。疑り深くて正直。無邪気にして老獪。独特の作品世界と強いバイタリティで文壇とジャーナリズムに大きな足跡を残した平林たい子。昭和の大「女傑」作家の素顔をみつめた評伝。

『ロマンスのR』

スー・グラフトン/著 嵯峨 静江/訳

早川書房 933/ク

刑務所から出所する一人娘を送り届けてほしい、大富豪からの依頼。だが、娘はまんまとキンジーを欺いて消えてしまう。彼女と闇の金融ルートを結ぶものは？カリフォルニアの女探偵が、恋に燃えつつ事件に挑む人気シリーズ

図書館にある全集紹介

個人全集(日本) 5

みなさんは「読みたい本が単行本では貸出中だけれど全集にはあります」といわれたことがありますか？図書館には、いろいろな種類の全集を揃えています。そこで、具体的にどういうものを所蔵しているのか、紹介していきます。

・太宰治全集 1～13 太宰治/著 筑摩書房 918.6/7

青春の頃、一度は手にとり親しんだという人は多いのではないのでしょうか。いまなお人気の絶えない太宰文学。読み直すと新たな自分を発見させてくれるかもしれません。代表作だけでなく魅力あふれる多くの作品に触れることのできる全集です。

・谷崎潤一郎 1～28 谷崎潤一郎/著 中央公論社 集英社 918.6/7

「刺青」など初期の作品から、古典訳の「新々訳源氏物語」、戦時下の「細雪」、晩年の「鍵」など、名作といわれる数々が収められています。精緻で美しい文体が物語の世界に読者を魅了します。

「やさいのせなか」

きうち かつ/さく・え 福音館書店
E/キ

やさいの上に紙をのせてクレヨンでこすると、不思議な模様がうつります。ごつごつしたせなか、ぽこぽこしたせなかは何のやさいかな？自分でもやってみたくなる絵本で想像力が広がります。

「いま、地球の子どもたちは

—2015年への伝言 第2巻

学校へいけない子どもたち(教育)」

本木 洋子・茂手木 千晶/著
新日本出版社 369/円

約65億人が暮らす地球上で、1億を超える子どもが学校へ行けません。貧困や内戦など、個人的、社会的理由だけでなく、女の子が学校へ行く習慣のない国さえあります。現状と教育を保障する取り組みを紹介。

「クロニクル 千古の間」

オオカミ族の少年」

ミシェル・ペイヴァー/作 さくま ゆみこ/訳
酒井 駒子/画 評論社 933/円

悪霊にとりつかれた巨大な熊に襲われた父は、トラクに<天地万物の精霊>が宿る山を見つけるように言って息を引き取った。トラクは家族を失ったオオカミの子と旅立つが…。6000年前を舞台にした冒険物語。

「おじいちゃんが

おぼけになったわけ」

キム・フォックス・オーガン/文 エヴァ・エリクソン/絵
菱木 晃子/訳 あすなろ書房 E/円

エリックの大好きなおじいちゃんが、心臓発作で死んでしまった。ところが、お葬式の夜エリックの部屋で、おじいちゃんのおぼけがほんやりすわって…。エリックと祖父の心のふれあいを描いた絵本。

「きこえるきこえる

えのおと えのこえ」

長谷川 摂子/構成・文 福音館書店
E/キ

絵の前で耳をすますと、絵の音・絵の音が聞こえてきます。雨がふる音。水のゆるる音。日本画から印象派絵画まで、12の月のさまざまな自然を描いた絵画の世界がリスミカルな文章とともに楽しめる絵本。

「アンデルセンどうわ」

ハンス・クリスチャン・アンデルセン/作
大畑 末吉/訳 堀内 誠一/絵
のら書店 949/円

生誕二百年を迎え、今なおおとぎ話作家として愛され続けているアンデルセン。「おやゆびひめ」「マッシュウリの少女」など代表作をおさめ、心をこめて訳した文章といきいきと美しいさし絵の一冊です。

● 『ハルばあちゃんの手』 山中 恒/文 木下 晋/絵 福音館書店 E/キ

● 『森の娘 マリア・シャプドレーヌ』 ルイ・エモン/原作 小池 昌代/訳
ライカ・クペイジック/画 岩波書店 E/ク

この絵本の原作『マリア・シャプドレーヌ』は、日本では『白き処女地』として知られている。

● 『—シャバヌー ハベリの窓辺にて』 スザンネ・ステープルス/作

金原 瑞人・築地 誠子/共訳 ポプラ社 933/円

ニューベリー賞オナー賞『シャバヌー —砂漠の風の娘—』の続編

● 『炎の謎』 ヘニング・マンケル/作 オスターグレン 晴子/訳 講談社 949/円

アフリカのモザンビークでおきた現実の物語『炎の秘密』の続編

● 『大人のための児童文学講座』 ひこ・田中/著 徳間書店 909.3/円

数字でみる図書館

1、市民図書館ではどのくらい蔵書があるのでしょうか。

図書館資料数（平成17年3月31日現在）

蔵書数	一般書	127,773冊
	児童書	45,111冊
	視聴覚資料	3,779点
	計	176,663点

2、市民図書館の本の中で、どの分野の本がよく読まれているのでしょうか？

貸出総数	583,369点（16年度）	
分類別貸出冊数 （利用の多い順）	第1位 文学	206,310冊
	第2位 絵本	98,494冊
	第3位 工学	51,656冊
	第4位 芸術	39,288冊
	第5位 視聴覚資料	33,218点

「文学」は、主に小説やエッセイ、「工学」は、手芸や料理、インターネットの本なども含まれます。「芸術」にはスポーツや囲碁など趣味の本も分類されています。

図書館からのお知らせ

<返却期限を守りましょう>

市民図書館の貸出期間は2週間です。さらに予約のかかっていないものについては、1回だけ2週間の延長をすることができます。けれど、返却期間を過ぎても返却していただけない方が増えてきています。図書館では、毎月督促のハガキを送付し、さらには電話連絡で返却のお願いをしています。また、予約のかかっているものについては、期限を少しでも過ぎると電話連絡しています。少しでも早くお求めの資料がお手元に届くようにと思います。ご協力ください。

利用案内

開館時間	10:00~18:00
貸出冊数	図書 2週間 5冊
	視聴覚資料 2週間 2点
休館日	月曜日(祝日のときは翌日)
	毎月月末日(その日が土・日・月のときはその翌日)
返却ポスト	1. 正面玄関向かって左
	2. 図書館裏駐車場右